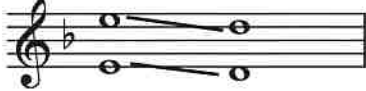



# 『挑む』 寸評

- ・ 発想標語が適切
- ・ 曲の終止を重音にしたのもよい効果
- ・ m.11-12 たたみかけるようなDの属和音が効いている
- ・ 後半8小節のドラマづくりをVa.がになっている
- ・ m.15 b.3 全員の八分休符がみごとな緊迫感をうむ

## 完成度をさらに上げるために

- ・ m.9, 14のコードはAm
- ・ m.14 b.4 Va.は音型をいかしてララがよい
- ・ m.4 b.3 Dmの第3音がないのが気になる
- ・ m.4 b.2-3 Vn.とチェロが完全8度平行 
- ・ m.5 b.4 Fの第3音ばかり  
3人ともうごきがファソラで工夫がほしい
- ・ m.14はかならず属和音Aにして (Va.がC#)
- ・ m.6 b.2-3, m.7 b.3-4 メロディーの減五度がつづくのはこのましくない  
いかにも属七和音使ってますってきこえる 
- ・ m.7 b.3-4 Va.は内声なので必要な構成音保持につとめる
- ・ m.9, 11 チェロを工夫して外声が反行するように  
Vn.は上行しチェロは下行

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

作風の広がりが好きです。

持麿 題